

【評価実施概要】

事業所番号	第0170401129		
法人名	株式会社ハウジングいとう		
事業所名	認知症対応型共同生活介護グループホームこころ		
所在地	札幌市西区発寒4条2丁目3-12 (電話)011-669-1222		
評価機関名	特定非営利活動法人福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	札幌市中央区南1条西5丁目7 愛生館ビル601B		
訪問調査日	平成20年5月31日	評価確定日	平成20年6月13日

【情報提供票より】(20年4月22日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 16 年 5 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16人	常勤	15 人, 非常勤 1人, 常勤換算0.75

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 一部木造増築		
	5階建ての	1階	2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	無	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,200 円	

(4) 利用者の概要(4月22日現在)

利用者人数	18名	男性	3名	女性	15名
要介護1	2	要介護2	9		
要介護3	3	要介護4	3		
要介護5	1	要支援2			
年齢	平均 84歳	最低	62歳	最高	101歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	清和記念病院, 琴似ロイヤル病院, 札幌みどりのクリニック, ラビット歯科
---------	---------------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームは住宅街に位置し、5階建ての1~2階のグループホームで3~5階は一般市民が入居している。日常生活上における利用者の身体機能に応じた設備や生活機能重視など利用者への配慮が窺える。ホーム内は手作りのカレンダーや装飾品が飾られ、生活感や季節感を取り入れ居心地よさが感じられる。利用者は豊かな表情を作りゆったりとした生活を送られているのが窺える。管理者は、チームケアを大切にしながら優しいケアをモットーに情熱を持って利用者本位のサービスに努めており、アットホーム的なグループホームである。今後も地域の中のグループホームとして、より地域に根ざした家庭的な生活重視のグループホームとして期待したい。

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価は、ユニット会議等を中心として改善実施計画を作成、地域推進会議へ報告している。その実施については即家族アンケートの実施や地域の文化祭等様々な行事への参加などサービス向上に向けて前向きに取組まれている様子が地域推進会議議事録や関係書類から窺われる。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価の実施には管理者を中心に職員全員で取り組み、評価の意義や目的を理解している。前回の自己評価の結果を踏まえ、改善に向けて取組んでいる。また日々のサービスを振り返りながら質の向上に繋げるよう取組まれている。今後も積極的に課題を出しあい利用者本位のサービスに更に取組まれることを期待する。</p>
	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>定期的な運営推進会議が開催され、地域の行事やホームの状況、外部評価報告、ヒヤリハット報告等運営状況や活動内容など積極的に報告し、話し合い、意見、質問、評価を受けサービスの質の向上に生かしている。熱心な討議がされていることは会議議事録で窺える。今後も開かれたグループホームとしてこの運営推進会議を地域の窓口として、利用者本位のサービス向上に繋がれることを期待する。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法、運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>玄関には声の箱を設置している。日頃から家族との交流を図り、来訪時には職員から声かけをし利用者の暮らしぶり等について家族に伝えたり、またどのようなことでも気軽に話し合える雰囲気作りに努めている。これからは利用者の家族へのアンケート調査等を通じた運営への反映、また運営推進会議等の場を通して積極的にニーズの把握に努めるなどの意向があるので今後の更なる取組に期待する。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の行事や催事などに職員と共に利用者が積極的に参加し、利用者共々地域にとけ込む努力をするなど交流に努められ良好な関係づくりができています。ホームに来てもらえるホームづくり、地域にホームの存在や役割が更に理解されるホームづくりのために運営推進会議の活用、地域の人たちとの相互交流や広報紙の配付等を通じ、地域密着型のグループホームとしての一層の取組を期待する。</p>

評価結果(詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念がホームの見やすいところに掲示され、全職員に浸透し実践されている。地域の中のグループホームを意識したサービスを展開している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	休憩室にも理念を掲示し、日頃から理念を認識しながら利用者への支援に取り組んでいる。なお、方向性がずれたときはミーティングや会議などを通して修正等話し合うなどして理念を共有している。		
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会の清掃活動、婦人部の活動、地域の行事や催事などに入居者と共に積極的に参加している。地域の方たちにもグループホームの存在を気にかけていただくなど人々との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員は、自己評価や外部評価の意義を理解し、意見を出し合いまとめている。前回評価の改善課題は全職員で話し合い、年間計画に基づき早期に検討されている。本年度の自己評価も全職員で取り組み、日々のケアの中に活かしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>定期的に運営推進会議が開催され、運営状況や活動報告をし、メンバーからの質問や意見、話し合いなどを通して前向きに実施されている。特に「ヒヤリハット」や「事故報告書」も積極的に報告したり意見を頂いている。難しいケースなども会議の意見を頂きケアの参考にしている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>管理者は市や他団体が開催する会議などに参加している。市担当者とはグループホームでの受け入れ態勢などの相談や情報収集を行っている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ホーム便りの発行、家族の来訪時には日々の暮らしの様子、職員の異動、健康状態や生活に変化等を報告している。また状態によっては電話で報告している。金銭に関しては毎月明細を明らかにしている。家族からも気楽に電話を頂いたり、誕生会・行事や何気ないナイスショットの写真を送っている。家族との信頼関係や協力関係を築いている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>日頃から家族との交流を図り、直接に意見要望を頂ける雰囲気を作るよう努力している。玄関入り口には声の箱を設置している。家族アンケートを送り意見を頂いている。運営推進会議にてこの内容について話し合いサービス向上に活かしている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動に伴う利用者への説明、新任者への紹介などは、説明方法を工夫するなど配慮している。また1・2階のバランスを取るため、職員の力量などを考え、必要最小限の異動に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の勤務日との調整をつけ外部研修に参加する機会を設けるようにしているが、この一年間は調整が難しく研修が十分ではないと認識している。介護に関する書籍を提供するなど資格の修得を勧めている。</p>		<p>全職員の資質の向上のために、内外での研修や学習は重要である。外部研修に対し、計画的に取組まれようとしているので、職員の更なるスキルアップが期待される。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>区内グループホーム管理者会議での実践的な交流を通して、学習会や情報交換などの機会を得ている。この会議はサービスの質の向上のためにも良い刺激を受けている。</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用者本人とホームには雰囲気や相性を考えて、納得した上でのサービス利用が必要である。そのため体験的な一泊入居や日中短時間でも過ごすなどの受け入れ体制を整えている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>日常的な生活から家事や会話を通して喜怒哀楽を受容し共感を共にしている。利用者の状況を理解し習わしを学んだり、ともに支えあいの関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者の日常の会話や仕草、表情などから思いや願い、気になることを汲み取り、より良い暮らしができるように意向の把握に努めている。困難な場合は、本人の視点に立った意見をカンファレンスなどで共有を図っている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人、家族の来訪時や家族アンケートからの意見・要望を伺い、スタッフから利用者の日常生活の情報やアイデアを求め、ケアに反映するなど利用者主体のケアプランを作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>ケアプランは、3ヶ月を目処に見直しを行い、それ以前に日常生活動作に変化が生じた場合は、随時ユニット内で検討し、必要に応じて家族や関係者と話し合うなど現状に即したケアプランを作成している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者や家族状況等を鑑みながら、病院への通院送迎、散歩、買い物時の付き添いなど柔軟な支援が実践されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用者は、定期的に協力病院の往診を受けている。なお、ホームでは看護師が常駐し利用者の健康管理を行っている。利用者の希望があれば入居前からのかかりつけ医による通院、診察を支援している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>治療の対処がなくなり、重度化し看取りの必要が生じた場合の終末期への方針で、家族としての方針が決まっている方には、早い段階で関係者と話し合いをし方向性を決めている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員の心がけとして、例えば排泄時などプライバシーを損ねないように言葉かけや関わり方に配慮している。また日誌報告で相手の入居者の名前をイニシアルで記録するなど個人情報の取り扱いに留意し徹底を図っている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>職員は、その人らしい生活や居心地よさを優先し、利用者の趣味・嗜好に合わせた余暇活動をしている。また理解力の低下した利用者にはその方のペースを尊重し、自分本位の時間を過ごせるよう柔軟に対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の能力に応じて食事の準備・後片付け等参加している。会話をしながら、楽しさが伝わっている。また職員は、利用者と一緒に食卓に着き、見守りながら食事や会話を楽しんでいる様子が窺えた。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は決まっているが、その中で利用者の希望や状態を考慮している。また入浴を楽しんでもらえるよう、入浴時間は本人の意思や希望を大切に、入浴を楽しめるようスキップも行っています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の一人ひとりの希望、日常習慣等を踏まえ、できる力の発揮の場面や役割、楽しみごとを作り出している。また調理や買い物、雑巾縫いや散歩など支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者一人ひとりのその日の天候や利用者の希望に応じて洗濯物干しや買い物、畑仕事や身近な散歩、戸外行事など日常的に外出支援を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	建物の構造上玄関が死角にあたり、実際無断外出しても察知できないことがあるため施錠しており、家族の了解を得ている。また居室には鍵の設置をしていないが、不安のある方だけ本人や家族の了解を得て設置している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回避難訓練を入居者とともに消火器、設備点検など消防署の協力を受けて実施している。運営推進会議のメンバーである町内会長等にも協力依頼している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	飲用量を水分表に記録し、一日の飲用量を把握している。一人ひとりの過不足摂取量を毎食観察し全職員が把握し、共有している。また不足なく摂取してもらえようおにぎりや間食など食事の形態を工夫している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	西日や日光のまぶしさはカーテンで防いでいる。またテレビの音量に配慮するなど不快な音や光がないように配慮している。壁には生活感や季節感を取り入れた絵や貼り絵を作品として飾り、居心地良い共用空間になっている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には自宅で使い慣れた馴染みの家具など生活用品や装飾品等が持ち込まれ、利用者の生活スタイルに合わせた居室作りを行っている。また趣味や思い出の時計、写真等装飾品が置かれ居心地良い居室になっている。		

 は、重点項目。